

平成30年11月14日

第7回

上砂川町ケアサポーター養成講座 《赤平市・上砂川町サポーター交流講演会》 実施レポート

平成30年11月27日

上砂川町社会福祉協議会

上砂川町福祉課保健予防係 上砂川町地域包括支援センター

【協力】 赤平市社会福祉協議会 赤平市エリアサポーターの皆様

はじめに



各回の講座を振り返るときの参考として頂こうと、このレポートを作成しております。

今回ご参加いただいた方、過去の講座にご出席いただいた方や、希望される方などに送付させていただきます。

第1回～第6回のレポートにつきましても、上砂川町社会福祉協議会のホームページにて公開し、紙面でも随時配布しております。当日使用した資料を御所望の方も、お気軽に上砂川社協(☎ 0125-62-2882 担当:イサハイ)までお問い合わせ下さい。

また、胆振東部地震や台風などの影響でご多忙の中、赤平市社会福祉協議会、赤平市エリアサポーターの皆様にもご協力頂くことが出来ました。

おかげさまで、とても良い雰囲気の中で終わることが出来ました。心温かいご支援に、心より御礼申し上げます。

開会式 ～あなたがた誰さ？～

6月の第1回、「どーもー」から始まったケアサポーター養成講座も、いよいよ最終回です。何としても良い形で締めたい！ということで、いつもの危なっかしい三人衆に加え、強力な助っ人をお呼びしての開催となりました。

- ・ 一般社団法人ウェルビーデザインの篠原辰二さん
 - ・ 赤平市生活支援コーディネーターの黒坂順子さん
 - ・ 赤平市社協、赤平市エリアサポーターのみなさん
- ご足労いただきまして有難うございます！

そして、**ようこそ上砂川町へ！**

赤平市にも縁のある上砂川町ケアサポーター・上村千嘉子さんのご紹介に沿って、赤平市エリアサポーターのみなさんへ、上砂川の特産品プレゼントも贈られました。上村さんの和やかトークで、全体の雰囲気がとても良くなりました。

サポーターさん同士の自己紹介タイムでは、初対面にも関わらず会話が弾んでいましたね。



実践発表講演 ～赤平市の場合～

昨今なにかと話題の「生活支援」に関して、赤平市は中空知地区の先進地として知られています。

その調整役を務める生活支援コーディネーターの黒坂さんより、赤平市の生活支援について講演が行われました。

サポーターの**男性の比率が高い事**、**チケットをやり取りすることで、利用する側も支援する側も気を遣わなくて良い「有償生活支援システム」**が出来ている事や、**エリアサポーターさんの特技や趣味を活かした特色のあるサロンが各地で展開(お寺サロンなど)**されている事、「ゆる元体操」や「ふまねっと」など上砂川には無い活動もあり、いろいろ勉強になりましたね。

中でも注目したいのは「**地域への発信**」というスライドで、黒坂さんの**地域に対する想い**が綴られていました。具体的な活動内容や手法も大切ですが、こうした地域や社会に対する想いが根っこにあるからこそ、色々な挑戦が出来るのだと思います。

我々もそれを忘れないように、一緒に前へ進みましょう！



実践発表講演 ～上砂川町の場合～

上砂川町の福祉活動の紹介は、いつもの3人で行いました。

百歳体操、ぶちもえ、カフェまちなか、よってけ場など、活動は各地でたくさん行われています。それらをみなさんにとって「もっと使いやすく」「分かりやすい」ものにしよう！というのが平成30年の上砂川町の大きな動きです。

最近ではケアサポーターのみなさんの自主的な動きが活発になっており、「こんなことは出来ないだろうか」「こうすればもっと良くなるのではないか」という声もたくさん挙がってきています。それらをどのように形にして行くかが大きな課題です。

上砂川の活動の中では「かみかみ体操」が注目を集めていました。その場で一緒に出来なかったのは残念ですが、是非赤平市でも活用して頂きたいと思います。



グループワーク ～お互いを知ろう、考えよう～

赤平市、上砂川町それぞれの発表講演の中で、今現在抱えている課題点が出てきました。

赤平市は上砂川町よりも面積が広く、**高齢者の移動手段**が大きな課題となっているようです。

上砂川町では、**認知症カフェやサロン活動**を各地区に広めたいという動きがありますが、これまで**サロン設立の経験が少ない**、という課題があります。

そこで、「**移動手段(足)**」と「**サロン設立に必要な事**」の2点をテーマとしてグループワークを行いました。

普段触れる事の少ない、他の地域の活動や課題について知ることは、お互いにとって大きな刺激になったのではないのでしょうか。グループワークで抱いた想いや考えを、それぞれの地域で、何らかのかたちで活かして行けたら良いですね。

また、今回の講座を期に、この先も赤平市・上砂川町のサポーター同士の交流を深めることが出来たら理想的です。**赤平市の皆様、本当に有難うございました！**



あしがき

～平成30年度ケアサポーター養成講座を終えて～

今年初めて、上砂川町のような小さいまちでも難しかった「横のつながり」が福祉課、地域包括支援センター、社会福祉協議会と実現できました。

わたし達3人もケアサポーターのみなさんと健康・認知症・支え合いなど多くを学び、上砂川町の将来を共に考えるととても有意義な機会でした。

これからも北海道一小さいまちの「元気で幸せな町民の多いまち」づくりを進めていきましょう！

末永くよろしく願いします。

上砂川町福祉課保健予防係
保健師 小林 京子

保健師として高齢者の皆様の健康が維持できるように日々働いているつもりが、一連の養成講座ではかえって元気をいただくという、充実した時間を過ごすことができました。

昨年より「カフェまちなか」を皆さんと運営することができていますが、最近はケアサポーターの皆様と共に地域の財産を作り上げている感覚が芽生えています。

これからも皆様と共に、高齢者の住みよいまちづくりへの取組みが出来れば嬉しい限りです。今後ともよろしく願いいたします。

上砂川町地域包括支援センター
保健師 内野 奈穂子

上砂川町へ移住して1年半が経ちました。人脈ゼロ、福祉の全てが分からないという状況でのスタートにも関わらず、これまで充実した毎日を過ごす事が出来ているのは、皆様の日頃からサポートしてくれているお蔭です。

私はその事実に大きな可能性を感じ、「出来ない訳がない」と確信しています。今回の一連の養成講座を通じて、その思いは強くなりました。

これからも皆様と一緒に、上砂川町の生活支援を少しでも充実させることが出来たら幸せです。

よろしく願いいたします！

上砂川町社会福祉協議会
生活支援コーディネーター
飯酒盃 琢一

平成30年度上砂川町ケアサポーター養成講座の軌跡

	日程	テーマ	講師・協力（敬称略）
第1回	6月21日	幸せと福祉	北海道総合福祉センター 事務局長 池田 ひろみ
第2回	7月27日	伝えかた・聴き方	北海道総合福祉センター 事務局長 池田 ひろみ
第3回	8月9日	健口づくり	歯科衛生士 本庄 和子 有限会社ダックススポーツ 代表取締役 斉川 義章
第4回	8月21日	一生自分の足で歩くために	有限会社ダックススポーツ 代表取締役 斉川 義章
第5回	9月3日	認知症の人にやさしいまちづくり	北海道総合福祉センター 事務局長 池田 ひろみ 上砂川町認知症老人と共に歩む会「さつき会」の皆様
第6回	9月13日	石狩市の取組み	有限会社アット 常務取締役 木元 国友 石狩市認知症ボランティア「みなみな」 続木 一良
第7回	11月14日	赤平市・上砂川町サポーター交流講演会	一般社団法人 WellbeDesign 理事長 篠原 辰二 赤平市社会福祉協議会・赤平市エリアサポーターの皆様

各回の資料・レポートを御所望の方は、上砂川町社会福祉協議会(☎0125-62-2882)まで お気軽にご連絡下さい。



ご参加・ご協力頂いた全ての皆様、ありがとうございました！